職業実践専門課程等の基本情報について

日本工学院八王子専門学校 昭和62年3月27日 中村 英詞 (住所) 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111 所在地 投資	日本工学院八王子専		設直	認可年月日	校長	長名			所在地						
特別主席 特別を対す。		門学校													
	設置者名														
選挙		· (E)													
				14//100			(電話) 03-3	732-1111		専門士認定年度 職業実践専門課程					
						±-1			高度専門士認定年						
	工業	情報	報科字專門課程 ————		ケームクリエイター	一科	平成20(2008)年度		Ψ	成26(2014)年度				
# 中央本 中 中本本 中 中本 中本	子件の日的	ン、映像)に[関する技術と知識	我の取得。開発用ケ	デーム機とコンピュ ・	一タを使用した乳	実習。世界に通り	用する企画力、発想力、 	技術力に優れたゲームグ						
2				ブラミング能力認定	?試験2級・3級、J科	策(情報沽用試影	美)2級・3級、CG :	エンジニア検定ベーシュ	17						
近点に応え 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単	修業年限	昼夜	全課程の修了	に必要な総授業時	数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技				
160 人				位いず 1							0 単位時間 単位				
	生徒総定員	生徒穿	€員(A)	留学生数(生徒実	員の内数)(B)	留学生割合	(B/A)	中退率							
## 被称者の状況	160 人	86	7		17 人	20 %		6 %							
#技術を表示 (
(成職等の状文) : 44 人 単数報告でいる。 単文書によるから、記書の対合(パワ) 15 ちっ															
製造等の状況 10 10 10 10 10 10 10 1				:			·								
# 単年東京によめの処理者の前俗 (E/C) 19 10 人					91	%									
東京書によめる報告の名の任命の名名(FC)		■別職百に	コめる地兀兓職で	ョの割音 (F/E)	85	%	1								
■ 2 子名歌		■卒業者に	占める就職者の罰	則合 (E/C)											
■ 1	46 ml ++ 1	■進学者数													
(令和 6 年度卒業者に関する令和7年3月1日時点の情報) ■************************************							·								
(令和 6 年度卒業者に関する令和7年3月1日時点の情報) ■************************************			のるナ 1タ ピール	公共中央 後時間	1夕17中学多种。1										
まこれことも		别 職木次正(かつら1名ゲーム:	云杠内正依辞返、	名 内定使辞返										
# 民間の評価機関等から第三者評価: 有		(令和	6 年	度卒業者に関する	令和7年5月1日時	点の情報)									
(今和6年度卒業主) 東三都上よる 学校診価 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価部本・特定課金報主動法人 私立専門学校 受害年月: 中成26年3月 非価格素を掲載した 水ームページ MRL 特定課金報主動法人 私立専門学校 受害年月: 中成26年3月 非加えページ URL (A. 単位時間による算定) (A. 単位時間による算定) (A. 単位時間による算定) (A. 単位時間による算定) (A. 単位時間による算定) (A. 単位時間による算定) (A. 単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 249 単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の授業時数 9 単位 うち企業等と連携した必要の実際の授業時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際の授業時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際を設置と基準を表現 単位 うち企業等と連携した必要の実際の授業時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際の対策時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際の対策時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際の対策時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際の対策時数 単位 うち企業等と連携した必要の実際の対策時数 単位 ○ クルニを表明に定めるの実施・実習・実技の授業時数 単位 ○ クルニを表明に定めるの実施を表習・実技の授業時数 単位 ○ クルニを表明に定める表別を表明に定めるの実施を表記を表明を表明に必要の表別を表現を表記を表明を表現した必要の表別を表現と必要の表別を表現を表別を表現した必要の表別を表現を表現を表現した必要の表別を表現を表現と表現した必要の表別を表現を表現を表現を表現した必要の表別を表現を表現と表現に定場のと表現した必要の表別を表現を表現と表現を表現を表現した必要の表別を表現を表現と表現に表現に表現の表現を表現した。 第6年学校設置基本第41条第1項第3号) 2 人 の (「等後学校設置基本第41条第1項第3号) 0 人 の の (「等後学校設置基本第41条第1項第3号) 0 人 の の (「等後学校設置基本第41条第1項第3号) 0 人 の の の の の の の の の の の の の の の の の の		■主な就職:	先、業界等												
第三者による 学校評価 新工作により、 評価的評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意応載 評価の作品機関等から第三者評価: が有が無くが、 の場合、例えば以下について任意応載 評価の作品を開催した。 ・															
第三者による 字校評価 特別		(1)110 112	1 **= /												
第三者による 字校評価 新田田林 特別まま刊:下記大人 私立専門学校 全番年月: 平成20年3月 非価能果を掲載した ホームページ かけまま刊:不知のでは、 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中															
評価のは、特別は第刊活動法人 私立専門学校 受審年月: 平成20年3月 評価総乗を掲載した ホームページURL								有							
### ### ### #### ####################	弗二白による	※有の物口、			7. 1. th 80 W. I.										
計版を	子汉矸Щ	ì	評価団体: 特	正非宮村沽動法人 評価研究機構	. 私立専門字校	受審年月:平	成26年3月								
### DEDIDED://www.nees.ac.pi./department/design/gamecrastor/2-passer/ URL (A: 単位時間: 1-65算定) (A: 単位時間: 5-62業等と連携した実験・実置・実技の授業時数	1/ ##### O														
(A:単位時間による算定) 総授業時数 「うら企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「うら企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「うら企業等と連携した必修の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 「おかいに記入) 「おかいに記入) 「おりままないでは、「おりまないでは、「おりまないでは、「なりまないでは、「おりまないでは、「おりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「なりまないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	ホームページ	https://www	/.neec.ac.jp/depa	tment/design/gan	necreator/2years/	<u>′</u>									
総授業時数	URL	ì													
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 240 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 1,740 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 1,740 単位時間 うち企業等と連携した姿態の実験・実習・実技の授業時数 240 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 0 単位時間 の 単位 の 単位		(A:単位時間	引による算定)												
35企業等と連携した漢習等			総授業時数												
55必修授業時数			~ /							1,860 単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数			フェ	企業等と連携した	実験・実習・実技の	の授業時数									
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数						の授業時数				240 単位時間					
○ 章 大連携した実習等の実施状況(A、BU9**) Aかいに記入) (B・単位数による算定) 総授業時数 「うち企業等と連携した火修・実習・実技の授業時数 「うち企業等と連携した火修・実習・実技の授業時数 「おりますと連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「単位 「うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「おりまする教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 「専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② 学士の学位を有する者等 ② 学士の学位を有する者等 ② 学士の学位を有する者等 ③ 高等学校設計を挙載・第41条第1項第2号) ② 体がの学位文は専門職学位 ③ 南修学校設置基準第41条第1項第5号) ○ 人 ③ 高等学校数論等経験者 ③ 「専修学校設置基準第41条第1項第5号) ○ 人			うち	企業等と連携した		の授業時数				240 単位時間 0 単位時間					
企業等と連携した実習等の実施状況(A、BU学れかに記入) 日:単位数による算定) 総授業時数 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) (本修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 (本修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 (本修学校設置基準第41条第1項第3号) (本修学校設置基準第41条第1項第3号) (本修学校設置基準第41条第1項第3号) (本修学校設置基準第41条第1項第3号) (本修学校設置基準第41条第1項第4号) (本修学校設置基準第41条第1項第4号) (本修学校設置基準第41条第1項第4号) (本修学校設置基準第41条第1項第5号) (本修学校設置基準第41条第1項第5号) (本修学校設置基準第41条第1項第5号)		'	うち	企業等と連携した 必修授業時数	演習の授業時数		おお は は は ない できまる は ない できまる は ない できまる は ない できまる しょう はんしょう しゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃ し			240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間					
企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入) 総授業時数 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち必修授業時数 単位 うち必修授業時数 単位 うち必修授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (うち企業等と連携したが表した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② (事修学校設置基準第41条第1項第3号) ② (事修学校設置基準第41条第1項第3号) ② (事修学校設置基準第41条第1項第5号) ② (参生の学位又は専門職学位) ② 修生の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) ② (内		' 	うち	企業等と連携した 必修授業時数 うち企業	演習の授業時数等と連携した必修	の実験・実習・乳				240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間 240 単位時間					
の実施状況(A、Bいずれかに記入) (B:単位数による算定) 総授業時数 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 第位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 第位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) ② 字本の学位を帯であって、当該専門課程の修業年限 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 ※ 当該業務に従事した対であって、当該専門課程の修業年限 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② 体生の学位とは専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ② 体生の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ② 人) t	が企業等と連携した が必修授業時数 うち企業 うち企業	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・3 の演習の授業的				240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間					
総授業時数 単位	企業等と連携した家習等) t	が企業等と連携した が必修授業時数 うち企業 うち企業	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・3 の演習の授業的				240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 位 できな業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 単位 できな業等と連携したが、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	の実施状況(A、Bいず	(D. M.)) t	が企業等と連携した が必修授業時数 うち企業 うち企業	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・3 の演習の授業的				240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 単位 うち必修授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 単位	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う こよる算定)	が企業等と連携した が必修授業時数 うち企業 うち企業	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・3 の演習の授業的				240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
うち必修授業時数	の実施状況(A、Bいず	1	うだった。	を企業等と連携した 必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した	演習の授業時数等と連携した必修 をと連携した必修 にインターンシップ	の実験・実習・身 の演習の授業時 の授業時数)				240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数) 単位 単位 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携して の企業等と連携した	漢習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ 実験・実習・実技の	の実験・実習・身 の演習の授業時 の授業時数)				240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 単位 単位 単位 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した 企業等と連携した	漢習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ 実験・実習・実技の	の実験・実習・身 の演習の授業時 の授業時数)				240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 単位 単位 (専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した 企業等と連携した	漢習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ 実験・実習・実技の	の実験・実習・身 の演習の授業時 の授業時数)				240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位					
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した	漢習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ 実験・実習・実技 漢習の授業時数	の実験・実習・第 の演習の授業時 の授業時数) の授業時数	持数			240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位					
当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ② 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ③ 6年の性 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) ② 存修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した の企業等が うち企業 うち企業 の必修授業時数	流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ 実験・実習・実技 流習の授業時数 等と連携した必修	の実験・実習・多の演習の授業時数) の授業時数) の授業時数 の授業時数	等数			240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した の必修授業時数	流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技な 流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・享 の演習の授業時数) の授業時数) の授業時数 の授業時数 の実験・実習・享 の実験・実習・享	等数			240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した の必修授業時数	流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技な 流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・享 の演習の授業時数) の授業時数) の授業時数 の授業時数 の実験・実習・享 の実験・実習・享	等数			240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ② 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ③ 6年の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) ② 多の他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した の必修授業時数	流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技な 流習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・享 の演習の授業時数) の授業時数) の授業時数 の授業時数 の実験・実習・享 の実験・実習・享	等数			240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
変 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 (② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人 (③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人 (⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた (う による算定) 総授業時数 うた うた (う	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 ち企業等と連携した の企業等と連携した のを授業時数	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修	の実験・実習・予 の演習の授業時数) の授業時数 の授業時数 の実験・実習・予 の演習の授業時の の授業時数)	等数			240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
教員の属性(専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた うた うた うた うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 ち企業等と連携した った業等と連携した うち企業 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した でまります。	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実技の授業時数		:1号)	240 単位時間					
教員の属性(専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた うた うた うた うた うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 ち企業等と連携した った業等と連携した うち企業 うち企業 うち企業 ち企業等と連携した でまります。	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実技の授業時数		(1号)	240 単位時間					
教員の属性(専任教員について記入) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず	1	うた (う による算定) (う による算定) 総授業時数 うた うた うた うた うた うた うた うた うた きょう な教育等に と当該業務に従	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のを授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 もの必修授業時数	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等数 実技の授業時数 情数 (専修学校設	置基準第41条第1項第		240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位					
② 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	の実施状況(A、Bいず	1	うた (う による算定) (う による算定) 総授業時数 うた うた うた うた うた うた うた うた うた きょう な教育等に と当該業務に従	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のを授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 もの必修授業時数	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等数 実技の授業時数 情数 (専修学校設	置基準第41条第1項第		240 単位時間 0 単位時間 1,740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位					
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	の実施状況(A、Bいず れかに記入)	1	うた (う による算定) (う による算定) 総授業時数 うた うた うた (う に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に な と 当 該 業務に 従 ② 学士の学位	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業等と連携した の必修授業時数 うち企業等と連携した の企業等と連携した 立企業等と連携した 立企業等と連携した 立必修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 ちた業等と連携した でのが表現した ののを授業時数 であった であった であった ののである である である である である である である である である である	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等数 実技の授業時数 等数 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	2号)	240 単位時間					
	の実施状況(A、Bいず れかに記入) 教員の属性(専任教員に	1	うた うた うた うた うた うた うた うた	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のか修授業時数 うち企業 うち企業 もたまであった 専門課程を修了して 従事した期間とを通動 を有する者等 論等経験者	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等数 実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(2号)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上位 単位 上位 上位 上位 上位 上位 上 上位 上 上 上 上					
計 4人	の実施状況(A、Bいず れかに記入) 教員の属性(専任教員に	1	元よる算定) おけっぱい 元よる算定) おけっぱい 元よる算定) おけっぱい 元まり 元まり	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のか修授業時数 うち企業 うち企業 もたまであった 専門課程を修了して 従事した期間とを通動 を有する者等 論等経験者	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専数 実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(2号) (3号) (4号)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人 2 人 0 人					
	の実施状況(A、Bいず れかに記入) 教員の属性(専任教員に	1	元よる算定 元よる算定 元よる算定 元よる算定 元まる 元まる	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のか修授業時数 うち企業 うち企業 もたまであった 専門課程を修了して 従事した期間とを通動 を有する者等 論等経験者	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専数 実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(2号) (3号) (4号)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 単位 単位 0 単位 0 単位					
	の実施状況(A、Bいず れかに記入) 教員の属性(専任教員に	1	元よる算定 元よる算定 元よる算定 元よる算定 元まる 元まる	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のか修授業時数 うち企業 うち企業 もたまであった 専門課程を修了して 従事した期間とを通動 を有する者等 論等経験者	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専数 実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(2号) (3号) (4号)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 単位 単位 0 単位 0 単位					
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有	の実施状況(A、Bいず れかに記入) 教員の属性(専任教員に	1	元よる算定 元よる算定 元よる算定 元よる算定 元まる 元まる	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のか修授業時数 うち企業 うち企業 もたまであった 専門課程を修了して 従事した期間とを通動 を有する者等 論等経験者	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等にお移 て、当該専門課程 で、当該専門課程	の実験・実習・身の が表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専数 実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(2号) (3号) (4号)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 単位 単位 0 単位 0 単位					
する者を想定)の数	の実施状況(A、Bいずれかに記入)	1	うさ うさ うさ うさ うさ うさ うさ うさ	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した 企業等と連携した の必修授業 うち企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等門にお程 に、当該等門課程 に、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	の実験・実習・男子の演習の授業時数)の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の実験・実習・男業の の授業時数) いてその担 の修業年限	等数 実技の授業時数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(25) (35) (45) (55)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 単位 単位 単位 単位 単位 中位 1					
	の実施状況(A、Bいずれかに記入)	1	5t 5t 5t 5t 5t 5t 5t 5t	企業等と連携した の必修授業時数 うち企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した の企業等と連携した のの修授業時数 うち企業 うち企業 ちた業等と連携した のの修授業時数 うち企業 ちた業等と連携した のの修授業時数 うち企業 ちた業等と連携して のの修授業 ののの修授業 のの修授業 のののののののののの	演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 たインターンシップ 実験・実習・実技の 演習の授業時数 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修 等と連携した必修 にインターンシップ た後、学校等門にお程 に、当該等門課程 に、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	の実験・実習・男子の演習の授業時数)の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の実験・実習・男業の の授業時数) いてその担 の修業年限	等数 実技の授業時数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第 置基準第41条第1項第	(25) (35) (45) (55)	240 単位時間 0 単位時間 1.740 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 単位 単位 0 単位 0 単位					

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またゲーム分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長のもとに設置する会議の1つである。校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び 企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会セクションチーフ	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	1
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	3
大戸 龍太郎	株式会社ウインズ 専務取締役	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院八王子専門学校 校長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	_
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育·学生支援部 部長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	-
山口 恵美子	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	_
吉冨 賢介	日本工学院八王子専門学校 科長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月·8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年09月04日 10:00~12:00

第2回 令和7年03月21日 10:30~12:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

三年制が新たにできることをご報告。それぞれの学科の狙いについて共有した。

ゲーム業界が求める人材像や即戦力として必要なスキルのヒアリングを行い、次年度のカリキュラムへ反映させることで、ゲーム業界の動向や今後の展望を中長期的に検討している。

C++ベースのカリキュラム改革は引き続きご評価いただいている。

業界の状況も共有いただいた。大手パブリッシャーの案件、中国資本案件ともに減少し、業界全体がやや苦しい状況。採用にも影響が 出るかも。

今まで以上にしっかりとした技術者を育てる必要があることを確認した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実 践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ゲーム制作に必要となる最新の知識、技術、制作管理能力を有している講師の派遣により、ゲーム業界のトレンドに合ったチーム制作体制やゲーム制作方法等、実践かつ効率的な手法を取り入れることが可能となっている。また、実習を通して学んだ内容に対し、業界目線での評価を受けることが出来る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
	2.【校内】企業等からの 講師が一部の授業のみ を担当	2年間の集大成としてゲーム制作を行います。	株式会社ミノリ 株式会社ワー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容 や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の 向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 近木ポのアンリーアな吹像コンチンフを制造するために、いまれら 連携企業等:イネージコンソーシアム でおくべきこと 常務理事 江口靖二

11.32 = 1 (= 1.1)

ガームクリエイター科・ 期間: 令和6年9月24日(火) 対象: ゲームクリエイター科四

年制 全教員

内容
世界の変化と、コンテンツやエンターテインメントへの影響。エンターテインメントのこれまでにない進化に対応するため

のスキルについて。

②指導力の修得・向上のための研修等

東京工科大学 研修名: 合理的配慮研修 連携企業等: 医療保健学部

> ゲームクリエイター科・ ゲームクリエイター科四

期間: 令和6年11月19日(火) 対象: 年制 全教員

2024年から義務化された合理的配慮の概要、重要性、そして本校での取り組みについて理解を深め

実際の場面で自信を持って対応できるようになるための一歩。

(3)研修等の計画

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

ー般社団法人コンピュー 「CEDEC2025」(コンピューターエンターテイメントデベロッパーズ タエンターテインメント協

研修名: カンファレンス) 連携企業等:会(CESA)主催

ゲームクリエイター科・ ゲームクリエイター科四

期間: 令和7年7月22日(水) ~ 7月24日(金) 対象: 年制 教員

内容 ゲーム・コンテンツ業界の現状と展望を確認する。最新技術についての知見を得る。

②指導力の修得・向上のための研修等

「効果的な授業のための 生成AI・ICTの活用について」

株式会社クリーク・アンド・

研修名: 東京大学 中澤明子氏 連携企業等: リバー社

期間: 令和7年8月6日(水) 対象: 全教員

生成AI・ICTツールの基礎と最新動向、教員の業務効率化における活用事例、授業における生成AI・ICTツールの活用

内容: 方法と中高でのAI教育事例

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行 うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を 行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置 ノ、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果 を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校 評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

27 中国子校に807 0子校計画が117712 00項目との対応							
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目						
(1)教育理念·目標	(1)教育理念•目標						
(2)学校運営	(2)学校運営						
(3)教育活動	(3)教育活動						
(4)学修成果	(4)学修成果						
(5)学生支援	(5)学生支援						
(6)教育環境	(6)教育環境						
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集						
(8)財務	(8)財務						
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守						
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献						
(11)国際交流							

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会会議における、本校の自己点検に対する評価委員からの主な意見と、それに対する本校の対応(活用)方法は以下のとおりです。

評価委員からは、留学生の増加に伴い、日本語学習の困難や文化的背景への配慮が必要であるとの指摘があり、非漢字圏の学生への対応や語学支援の強化が求 められています。また、英語圏以外の国々からの学生が増えていることを踏まえ、国際交流や交換留学制度の整備、Zoom等を活用した海外との交流機会の創出が 望ましいとの意見がありました。

2. 教育内容・学習環境の向上

委員からは、学生の作品の質が年々向上していることが評価される一方で、医療分野におけるAI活用など、より実践的な教育内容の充実が求められています。また、 番組制作やカメラ・照明などの職人的分野では、現場での学びが重要であり、専門学校としての強みを活かすべきとの指摘がありました。加えて、教職員のデジタル 知識の向上が必要であるとの意見も示され、ICT活用の推進が課題とされています。

3. 地域連携・社会とのつながり

地域との連携については、ボランティアやアルバイトなど地域密着型の活動を経験している学生が多く、これを学校の特色として活かすべきとの指摘がありました。ま た、地域のスポーツ団体とのマッチング機会の創出や、予算面での課題を踏まえた地域活動の工夫が求められています。

委員からは、総合型入試を活用する学生の増加や、資格取得を通じた進学支援の必要性が指摘されました。さらに、社会人が専門学校で学び直す際には、資格取 得が可能な環境整備や、異なる年齢層が共に学ぶことによる相互刺激の価値を重視すべきとの意見があり、多様な学習者に対応する柔軟な教育体制の構築が求め られています。

5 学生支援・メンタルヘルスの充実

学生が安心して学べる環境づくりに向けて、メンタルヘルス支援の充実が必要であるとの指摘がありました。言葉の掛け方によって学生の反応が変わることから、教 職員の対応力向上も重要視されています。また、健康面での支援体制の強化や、個々の学生に応じた支援のあり方についても、今後の検討課題として挙げられてい ます。

以上の内容を踏まえ、学校関係者評価委員会において討議された事項に基づき、次の5項目について検討を行い、今後の取組に活用してまいります。

- ・日本語教育の強化や海外との交流機会の創出、国際連携の推進など、留学生がより学びやすい環境づくりについて今後の整備を検討します
- ・地域企業や団体との協働、地域イベントへの参加促進などを通じて、学生の実践力育成と学校の地域貢献を目指す取り組みを模索しています。 ・教職員のICTスキル向上や授業のデジタル化、学生成果の外部発信など、教育の質を高めるための環境整備を段階的に実施していきます。
- ・対象員のID・A・Tルドエトで表示のアンテルに、チェルネのアポルトはと、もまりの員と同かるにかい来発を描されてけた。 ・社会人や非全日制学生への柔軟な学習支援、資格取得支援制度の整備など、多様な学びのニーズに応える体制づくりを今後の課題としています。 ・メンタルヘルス支援や多言語対応、個別支援の充実など、学生が安心して学べる環境の構築に向けた取り組みを引き続き検討していきます。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング 株式会社)	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	卒業生/企 業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 取締役 マーケティング戦略室 室長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
矢野 俊宏	株式会社田中建設 取締役 営業本部長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事 務長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

URL:

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL:https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を 提供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	- 11 11 12 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	AP 11 V 15 15 XH CAVIII
	ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
	(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
		教員·教員組織
	(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
	(5)様々な教育活動・教育環境	施設•設備等
	(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
	(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
	(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
	(9)学校評価	学校評価、令和6年度の項目別の自己評価表
	(10)国際連携の状況	
	(11)その他	
١.		

))

※(10)及び(11)については任意記載。

3)情報提供方法 (ホームページ・

URL:

) 広報誌等の刊行物 · その他(

URL:https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

授業科目等の概要

				専門課程 ゲームクリエ												
		分類		授業科目名	授業科目概要	配当	授	単	授講	業方演		場校		教専	兼	企業
	Ž.	択	由			年	業	位	nta	154	験			-11	ΛIC	等
	修	必修	選択			次・	時	数	義	習	実	内	外	任	任	との
		,_				学期	数				習					連携
						797	奴				実					175
											技					
1			0	キャリアデザイン1	就職活動のためのキャリアパスの構築、履 歴書・ポートフォリオ作成、筆記・面接試 験対策等を行います。	1	30	2	0			0			0	
2	0			資格対策1	ゲーム業界での仕事に役立つ知識の取得、 また資格取得を目指した I T スキル等を学 びます。	1	60	4	0			0		0		
3	0			資格対策 2	ゲーム業界での仕事に役立つ知識の取得、 また資格取得を目指したITスキル等を学 びます。	1	60	4	0			0		0		
4	0			ゲーム数学1	ゲーム制作に必要な数学を学びます。	1	30	2	0			0			0	
5	0			ゲーム数学2	ゲーム制作に必要な数学を学びます。	1	30	2	0			0			0	
6	0			ゲームデザイン1	ゲーム制作に必要な企画力・アイディアカ 向上のための基礎知識を身につけます。	1	60	4	0			0		0		
7	0			ゲームデザイン 2	ゲーム制作に必要な企画力・アイディアカ 向上のための基礎知識を身につけます。	1	60	4	0			0		0		
8	0			プログラミング 1	C/C++やC#によるオブジェクト指向プログラミングの基礎を学びます。	1	120	8	0			0		0		
9	0			プログラミング 2	C/C++やC#によるオブジェクト指向プログラミングの基礎を学びます。	1	60	4	0			0		0		
10	0			ゲームアルゴリズム 1	ゲーム制作に必要な考え方について学びます。	1	120	4			0	0		0		
11	0			ゲームアルゴリズム 2	ゲーム制作に必要な考え方について学びま す。	1	120	4			0	0		0		
12	0			ゲームプロジェクト	ゲーム制作プロジェクトを行うための基礎 知識と技術について学びます。	1	120	4			0	0		0		
13			0	リソース制作1	2 Dおよび3 Dリソース作成のためのツールの使用法の基礎を学びます。	1	30	1			0	0			0	
14			0	リソース制作2	2 Dおよび3 Dリソース作成のためのツールの使用法の基礎を学びます。	1	30	1			0	0			0	
15			0	キャリアデザイン 2	就職活動のためのキャリアパスの構築、履 歴書・ポートフォリオ作成、筆記・面接試 験対策等を行います。	2	30	2	0			0			0	
16	0			ゲームプログラミン グ 1	プログラマーの必須言語であるC/C++、 OpenGLやDirectXなどについて学びます。	2	60	4	0			0		0		
17	0			ゲームプログラミン グ 2	プログラマーの必須言語であるC/C++、 OpenGLやDirectXなどについて学びます。	2	60	4	0			0		0		
18	0			ゲームプログラミン グ実習 1	プログラマーの必須言語であるC/C++、 OpenGLやDirectXなどについて学びます。	2	60	2			0	0		0		

19 🔾	ゲームプログラミン グ実習 2	プログラマーの必須言語であるC/C++、 OpenGLやDirectXなどについて学びます。	2	120	4		\circ	0	
20 🔾	ゲームエンジン1	ゲームエンジンについて学びます。	2	60	2	0	0	0	
21 🔾	ゲームエンジン2	ゲームエンジンについて学びます。	2	60	2	0	0	0	
22 🔾	ゲーム開発A	実践的知識を習得し、ゲーム制作に生かします。	2	60	2	0	0	0	
23 🔾	ゲーム開発B	実践的知識を習得し、ゲーム制作に生かします。	2	60	2	0	0	0	
24 🔾	ゲーム開発C	実践的知識を習得し、ゲーム制作に生かします。	2	60	2	0	0	0	
25 🔾	ゲーム開発D	実践的知識を習得し、ゲーム制作に生かします。	2	60	2	0	0	0	
26 🔾	卒業制作	2年間の集大成としてゲーム制作を行います。	2	240	8	0	0	0	0 0
	合計	26	科	· 目	•	1860時間 84単位	単位	位(単位	拉時間)

卒業要件及び履修方法	授業期	
卒業要件: 卒業時に必修科目1740時間(78単位)取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 1年次は必須840時間履修すること。 2年次は必須900時間履修すること。	1 学期の授業期間	15 週

選択科目の履修方法 1年次は必修2時間、選択科目2時間以上履修すること 2年次は必修時間、選択科目時間以上履修すること